

能登半島地震被災地へトイレトレーラー出動 職員4人を現地に派遣

- 気仙沼市は、石川県能登地方を震源とした能登半島地震の被災地に、トイレトレーラーを出動させます。これに伴い、職員4人を現地に派遣します。
- 1月5日（金）夕方に石川県輪島市への到着を目指します。
- トイレトレーラーは令和4年12月に「東北魂義援金」より本市に寄贈されたもので、同義援金はみなと気仙沼大使のサンドウィッチマン（伊達みきおさん、富澤たけしさん）が発起人となって開設されました。
- 仕様面では洋式個室水洗トイレ3基、給排水タンク、ソーラー発電・バッテリー等を備え、牽引車両で移動します。これまで市内のイベントで使用していますが、災害対応での出動は初めてとなります。
- 東北魂義援金から寄贈されたトイレトーパー、防災備蓄ゼリーも積み込みます。

1 派遣期間 令和6年1月5日から数日間（予定）

2 派遣職員 【産業部観光課】

①課長補佐兼観光係長 村上 充

②主任業務員兼自動車運転手 及川 進

【ガス上下水道部】（トイレ用給水車も出動）

③浄水課技術主幹兼浄水第二係長 谷口 弘幸

④工務課技術主幹 菅原 康浩

・上記4名は1月5日（金）午前7時に気仙沼市役所玄関前を出発

3 牽引事業者 有限会社熊谷建材（気仙沼市岩月千岩田17-1）

専務取締役 熊谷 一洋

・派遣職員と連絡を取り合いながら現地で合流

※トイレトレーラーは埼玉県内の専門自動車会社で最終点検中

→1月5日（金）正午完了見込みにつき、その後、埼玉から被災地へ出発